

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

2017

4月号

vol.609

月刊

同友

MONTHLY COMMUNICATION MAGAZINE DOYU

特集

第1回九州沖縄エリア青年経営者合同例会レポート
あなたの一歩は 会社の十歩

21世紀型
自立型
企業づくり

同友会の学びを自社で実践

花田 理恵 氏 [株式会社サワダ]

準特集

強靱な企業づくりが日本の未来を切り拓く!

～経営維新で夢あふれる中小企業を実践しよう「人を生かす経営」～

同友会 3つの目的

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して、企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

月刊同友 4月号 自立型企業づくり

はみだしレポート

花田理恵さんは、建設土木資材のメンテナンス及び加工を基本とし新素材や新技術の取得に取り組み、雰囲気だけで素晴らしいとわかる会社づくりを目指しておられます。

ものすごい行動力があり、勉強熱心で男性顔負けの義理・人情を持ち合わせている中で目標を一つひとつ実現している姿は、眩しいくらいです。

花田理恵さんとの出会いは、5年ほど前の支部例会での懇親会です。

その時、元氣印ではっきり物事を言われる女性だなと感じました。当時、産休であまり同友会活動に参加していないと言われていましたが、その後まもなく副支部長として完全復帰されました。

支部内外で、経営指針（ワンシート）・女性部会・共同求人他にもものすごく活躍されています。

三浦造園土木建設（株） 代表取締役

三浦 義孝（西支部）

そんな中、とうとう昨年5月に本社及び自社工場を飯塚市に新設され、より一層パワーアップし、まわりの人（お客様、工場内パートナー、家族）と一緒に幸せの追及に突き進んでいます。

とても尊敬できる花田理恵さんと今からも「知り合い、学び合い、活かし合う」中で成長し、感謝し合える大切な仲間として進んでいきたいと思っています。



本誌p6掲載

株式会社
サワダ
代表取締役
花田 理恵 氏
(西支部)



【今月の表紙】 撮影：富谷 正弘（株）ココスイメージ（玄海支部）

（株）サワダさんの取材でお話を伺い、工場へ行くと、ちょうど従業員さんが溶接作業をしていました。パチパチと火花を散らす溶接の光は、テレビで見る以上に激しくとても眩しかったです。

第1回 九州沖縄エリア青年経営者合同例会レポート

あなたのための一歩は 会社の十歩

報告：青年部連絡会代表 林 直輝

「福岡、しっかりせい！」

今回、福岡で第1回九州沖縄エリア青年経営者合同例会が開催されるに至ったきっかけは、今から約2年半前に発せられた現同協青年部連絡会代表の早間雄大さんのこの言葉でした。

沖縄エリア 青年経営者合同例会
が待っている。あなたの一歩は会社の十歩

懇親会での胴上げ

第1回九州沖縄エリア
青年経営者合同例会

開催日 2月3日（金）
会場 ホテルセントラーザ博多

おそろいの法被を着てお出迎え

活発になってきた 全国の青年部活動

近年、中小企業家同友会では全国的に青年部活動が活性化しており、特に2013年に「われわれ青年経営者で世界に誇れる日本の未来を創ろう!」との2020年VISIONが宣言されて以降、次々と各都道府県の同友会において青年部が設立されています。

このような流れの中、2013年2月、福岡県中小企業家同友会においても45歳以下の会員が自動的に所属する形で青年部連絡会が発足しました。ただ、福岡においては青年支部や青年懇話会といった青年経営者の組織が既に存在しており、両者との住み分けや存在意義が不明確なまま青年部連絡会は活動を開始いたしました。

各支部から1名ずつ幹事を選出して青年部連絡会幹事会が組織されたものの、各支部からは、名前だけでいいから幹事になってくれ、行かなくていいからといった形で幹事を任された者もあり、青年部連絡会設立当初、20数名いるはずの幹事会に参加するのは数名といった状況でした。

何の理念も方針もない状況でしたが、とりあえず例会を開催しようということになり、当時、中同協青年部連絡会副代表及び広島同友会青年部連絡協議会会長を務めていた早間さんを招き話をしてもらうことになりました。特

に話してもらいたいテーマがあったわけでもなく、完全に人ありきの報告者選びでした。

「福岡、しっかりせい!」という言葉は、この例会の最初に早間さんが発した言葉でした。事前の打合せにも数名で1回行っただけであり、報告者の名前をも呼び間違えました。早間さんからは覚悟が足りないと言われ、そもそも福岡の経営者は全国から顔が見えないとも言われました。この言葉を聞いた私は、何の覚悟も準備もなかったことを恥じるとともに、自分たちのせいで福岡の青年経営者の評価を下げてしまったことを強く後悔しました。福岡には全国に誇れる魅力ある経営者がたくさんいるにもかかわらず、自分たちのせいで福岡の青年経営者が大したことはないと思われてしまったのではないかと思います。

私は、その例会の最後のあいさつで、福岡の青年部連絡会を活性化させ、福岡に魅力ある青年経営者がたくさんいることを日本全国に知らしめることを約束しました。そして、その半年後、私は福岡青年部連絡会の代表に就任しました。

第1回九州沖縄エリア青年経営者合同例会はこのような経緯を経て福岡で開催されましたので、個人的な思いとしては今回の合同例会は福岡の青年経営者の魅力を全国に知らしめる場でした。

お互いに顔が見える 関係にするために

ただ、2015年11月、福岡での合同例会開催が決定され、私が実行委員長として九州沖縄エリア全体の活性化という視点から合同例会の開催に携わったとき、改めて九州沖縄エリアの問題点に気づくことになりました。合同例会開催のため様々な場所に告知に出向くも、九州沖縄エリアでは積極的に他県や他支部に顔を出そうとする青年経営者は多くはありませんでした。奇しくも早間さんが指摘した問題点でした。

合同例会の実行委員会では、この問題を解決すべくスローガンを「集え! 一歩踏み出せ、仲間が待っている。あなたの一歩は会社の十歩」としました。色々な人間と接することで経営者は成長します。会社の成長に経営者の成長は不可欠ですので、とにかく参加し顔を見せてもらうことを目的としました。その意味で、今回の合同例会は、なかなか顔の見えない九州沖縄の青年経営者が互いに顔を見せ合っ場でもありました。

300名近くが参加

合同例会当日は、296名の申し込みがあり、当日の参加率は93.5%にも及びました。第1回にもかかわらず

九州沖縄エリアだけでなく、全国各地からも多数の参加をいただきました。きつと、福岡に魅力ある青年経営者が多数いることを伝えられたとともに、九州沖縄エリアの青年経営者が外に顔を見せることにつながったと思います。

次回は復興に邁進する熊本で

今後、我々が行うべきことは継続的に合同例会を開催していくことです。せっかく第1回合同例会が盛況に終わったとしても、第2回につなげることができなければ、せっかく見えた顔がまた見えなくなってしまう。

第2回合同例会は、時期は未定ですが熊本で開催されることが決まりました。来期、復興に邁進する熊本でどのような合同例会が開催されるか非常に楽しみです。私も前実行委員長として次回合同例会の開催に尽力いたします。

全国の青年経営者との交流を!

また、今回の合同例会では福岡同友会の問題点も浮き彫りとなりました。福岡の青年部連絡会は、福岡地区にて幹事会が開催されているにもかかわらず活動の中心は福岡地区以外の幹事たちです。特に、人数の多い支部や青年支部は、自らの所属する支部活動が充実している結果、所属支部での活動に満足しているのか支部の垣根を超えた活

動にあまり魅力を感じてもらえないようです。

確かに、支部活動が充実していれば、支部外部の活動に魅力を感じず、場合によっては負担と感ずることがあるかもしれません。しかし、全国には色々な経営者があり、彼らと接し切磋琢磨することは経営者としての器を広げるいい機会となります。今後の目標は、支部や県の垣根を超えた青年部活動の良さをより周知し、福岡から全国へと顔を見せる青年経営者を増やしていくことです。第1回合同例会に参加された皆様には、是非とも次のステップとして青年経営者全国交流会等全国行事に参加してください。仲間と書いてライバルと読む、そんな奴らとたくさん出会うことができます。

未来の青年経営者のために

最後に、福岡では2016年度活動方針として第1回合同例会の成功や全国行事への参加促進を掲げるなど諸先輩方に青年部活動を暖かく支援していただいております。合同例会でも、直前まで動員に苦慮している我々に対し、アドバイスや実際に参加いただきました様々な形で助けていただきました。青年部連絡会幹事一同を代表して心から感謝申し上げます。将来、福岡同友会を背負っていくことで恩返しをさせていただきますと思っております。

第1分科会



九州各地から300名近くの青年経営者が集いました



第3分科会



多くの出会いを生んだ懇親会



基調パネルディスカッション



同友会の学びを 自社で実践

社長のおもいを成文化するということ

とかく男性社会と言われる業界で、同友会の学びを実践する女性社長の奮闘記です。



自社工場で加工された鋼材

「同友会の初めの印象は、温かく、初めて経験することばかりで刺激があり、楽しい会だと思いました」

私も学ばばいいんだ！

社長になったものの、右も左も分からず、1年が過ぎました。仕事はあるのですが、単価を叩かれていきます。「下請は辛いと思いました。効率を上げて仕事をすると、このくらいの時間でできるんだと言われ、それが口実で値引きされてしまいます」

そして、ふたを開ければ大きな赤字を計上してしまいました。賞与なし、

社長給料ゼロ、そして社員の給料も見直しを余儀なくされました。社員を預かることの重責を感じました。鐘川さんには「もうやめようと思う」と相談したところ「運命を受け入れなければいけないよ」と励まされました。

同友会の共育委員会に参加するように勧められ、門を叩きました。社員教育は社長がまず学ばなければならぬと、熱心に活動に参加しました。「そうか、落ち込んでなんかいられない。私も今から学ばばいいんだ」とスイッチが入りました。

また、時枝^{ときえだ}正明さん(株コミプラ・現会長)からワンシート作成会に誘われました。経営指針書(同友会では経営理念・方針・計画が必須)をA4かA3用紙1枚にまとめ、作成する勉強会です。短時間で自社を俯瞰できるというメリットがあります。

ワンシートを作成して、同友会の教えに倣い経営計画発表会を開きました。「時枝さんにも出席していただきました」。その中には「自立型企业をめざす自社工場を持つ」という文言を入れたのでした。

自社で受注する

その後、構内工場で小物の加工品を作るようになりまし。まさに自立型への第一歩でした。やがて量が増えてきて手狭になってきたので、15坪ほどの土地を借りてそこで作り始めました。鐘川さんからも仕事をいただくようになりまし。 「青空(建屋がない)だったんですよ。さすがにそれではダメだということ。鐘川さんが一緒にあって物件を探してくれました」

篠葉に75坪の空き工場があり、格安で借りることができました。「格安といえども、家賃を払ってやっていけるのだからかと不安でした。しかし現実には、工場があるから仕事が来るという状態でした。さらにスペースが足りなくなり、今度は袖須に350坪の物件を見つけ、半分ほどを短期間の条件で借りました。仕事はさらに増え続け、全スペースを借りることになりました。短期の約束も3年ほどが経ち、オーナーから新しい借り手が付いたということ。明後渡さなければならなくなったのです。

昭和54年、実父の沢田泰文さんが糟屋郡篠栗町で法人を設立させました。花田さんは大学卒業して事務員として入社し、結婚して花田姓を名乗ります。平成9年のことでした。父親が病で急逝してしまいました。父親の右腕の幹部から「娘のあなたが社長になりなさい。あとは私たちが支えてあげるから」と背中を押されて社長に就任しました。当時24歳でした。

当時、構内工場は9か所、50人の社員が働いていました。事務職はしていたものの、経営にはタッチしていませんでした。名古屋の親戚から「経営の勉強をしないさい！いい会があるから」と同友会を勧められました。もともと取引先でもあった(株)鐘川製作所の鐘川喜久治さん(西支部所属)がその動きを察知しスポンサー(同友会の紹介者)となってくれました。

同友会入会でスイッチが入りました。
「自立型企业をめざす！自社工場を持つ」
当時は大きな目標でした。



念願の自社工場

株式会社サワダ
創業 1972年
住所 飯塚市平恒193-2
電話 0948-43-3956
従業員数 22名(うちパート・アルバイト3名)
HP URL <http://kk-sawada.co.jp>
事業概要 金属加工業



株式会社サワダ
代表取締役

花田 理恵 氏
西支部

取材 広報部
文章担当 菅原 弘(東支部)
写真 富谷正弘(玄海支部)

急な社長就任

「本日はお越しいただきましてありがとうございます。と明るく挨拶していただいたのは(株)サワダの代表取締役花田理恵さんです。

「事業は2本柱です。一つは重仮設業会社の構内下請業です。土木・護岸建設工事の鉄鋼資材などはリースで使用しており、それらの資材の加工・メンテナンスを取引先の構内で行なっています。もうひとつは自社工場においての金属加工です」



会員と金融機関を合わせて103名の参加があった

ともに良くなる 「共有価値の創造」 とは?

2016年度中小企業経営者と 金融機関との勉強会

2015年11月には福岡地区会主催で金融機関の皆様との懇談会を開催し、多くの金融機関の関係者が参加しました。今回の勉強会は、2015年度から始まる金融庁の行政方針の大転換(特に地域金融機関に関すること)に伴い、金融機関の中小企業融資に対する変化について、お互いの情報交換を行う目的で開催されました。

10の金融機関から24名の参加があり、原崇氏(財務省福岡財務支局 金融監督官)の講演の後には、グループ討論で会員と金融機関関係者の意見交換を行いました。

日にち：2017年2月9日(木)
会場：TKP博多駅前シティーセンター
演題：金融機関の方針変換について
講師：財務省福岡財務支局 金融監督官 原 崇氏
参加数：103名(会員72名、ゲスト1名、事務局6名、金融機関24名)



あいさつする高谷福岡地区会長



金融監督官の原 崇氏

【講演より抜粋】
従来、金融行政は大蔵省が担っていました。1990年代、金融不祥事や不良債権の問題があり、大蔵省から切り離せということで、1998年に金融監督庁、2000年に金融庁に移行していきました。
バブルが崩壊して膨大な量の不良債権が発生しました。預金を守る、不良債権の根源を断ち切るということ、検査をしつかりやりましょうということになりました。まず不良債権の定義を米国と合わせて明確にし、検査マニュアルを作りました。
メガバンクについては2003年から2年半で半減させ、地域の金融機関については資産検査を中心に進め、2005年から、まず金融機関が自ら査定して、その後検査官が査定しました。目的は、安定して健全な金融システムを守っていくことです。様々なヒアリングやアンケートにより、ユーザー(企業)が金融機関に相談している割合が低いこと、欲しい情報と提案される情報に食い違いがあること、長期貸し出しや保証協会の付けることにより金融機関のユーザーへのフォローが希薄にな

っていることが浮き彫りになりました。そして、次の変革が必要と考えました。
① 金融当局・金融行政の変革
② 国民の安定的な資産形成を実現する資金の流れへの転換
③ 「共有価値の創造」をめざした金融機関のビジネスモデルの転換
そこで資産査定をやらないようにしました。
地域が活性化するためにはお金が循環しなければなりません。未来があるところにお金を回しましょうということ、その取り組みとして、ユーザーと金融機関が直接対話を通してニーズや課題を明らかにします。金融機関による分析評価を明示し、互いに認識を共有する。そのためにベンチマークを策定しました。本部が積極的にユーザーをサポートしていきます。
金融機関が顧客本位の優良なサービスを提供し、企業の生産性向上や国民の資産形成を助け、結果として金融機関自身も安定した顧客基盤と収益を確保するという好循環「共有価値の創造」をめざすことが望まれます。



お話を伺った後に工場内を見学させていただきました

自社で受注する

次なる物件を探してもなかなか条件に見合うものがありませんでした。そこに飯塚に土地があるという情報が入りました。一方で構内下請はお客様の都合による撤退や福岡エリアへの集約が進み、3工場となっていました。「構内下請の集約は辛い思いもしたましたが、ここは思い切って自社工場を建てよう」と決心しました」
平成28年5月、自社工場が完成しました。経営指針書で成文化したことがカタチとなって現れたのです。「顧客の

利益につながる受注方法」というテーマで経営革新計画の承認を受けました。「何よりも社員さんのモチベーションが上がったことが嬉しかったです」

社内のコミュニケーション

(株)サワダでは、経営理念を毎朝唱和しています。月に一度各部門から上がってきた報告に社長と部長がコメントをします。「これにはルールがあります。必ず『褒める』ことです。職人さんは口数が少なく、話が一方通行になりやすいので、とにかく褒めるんです」また、「気配りカード」を渡しています。気の利いた、気配りした人にはその場ですぐ商品券カードを手渡しします。そしてその内容を、花田さん自ら手作りの社内紙に載せ、コミュニケーションのツールとしています。「最近では進化しているんですよ。これも同友会での学びですが、〇〇さんがこんな気配りをしていましたと報告してくれた人にカードを渡すようにしました。人の粗を探るのは簡単ですが、いいところを探すのはよくその人を観察していないとできませんよね」
常日頃から現場に顔を出し、社長が一人ひとりと話すようにしています。花田さんはそれほど意識していないと言いますが、女性ならではの細やかな視点で社内でのコミュニケーションを図っています。売上・利益を上げ、そして給料を上げるためには社長と社員が一緒になって考えようと声掛けしています。

さらに同友会の学びの実践

社員教育の一環としてモデリングの手法を導入しています。熟練の職人さんと若手がそれぞれ作業しているところをビデオに撮って見比べるのです。自分を客観視してもらうには非常に効果があります。一方、安全で効率よく加工ができるのであればと新しく機械を購入しました。
同友会で共同求人委員会にも参加しています。「新卒を採用することが目的ではなく、社内の体制を整備するのが目的だと分かりました。魅力ある会社でないと来てくれませんね」。3年目の平成29年度には高校の新卒4名(内1名は女子)を迎えることになりました。新自社工場が決めた手になったようです。「社内に若い風を吹きこんでほしいですね」と期待を寄せます。

さらにインドネシア人の研修生を2名採用しています。「マインドが違います。とにかく稼ごうという姿勢がありますから、いい刺激を受けています」
こうして花田さんは同友会で学んだことを積極的に自社に取り入れて実践しています。
「ワンシート作成会ではお手伝いさせていただき微力ながら恩返しができるばと思っています」
「ありがとう」が飛び交う会社
鐘川さんから「あなたは技術を持っていないんだから、周りの人に感謝の



取材時には西支部の方々がたくさん駆けつけてくださいました

気持ち忘れてはいけませんよ」と言われ、肝に銘じています。「ありがとう」が飛び交い、社員がサワダに入ってよかったといわれる会社作りに取り組んでいます。
取材の最後に花田さんが考える自立型企業についてお伺いしました。
「めざしているのは時代の流れや景気にとらわれることなく生き延びていく力を持った会社です。きつい時にはじつと耐えて、いい時にはジャンプしていく。根っこをしっかり張っていく会社です。いずれは自社製品もできればいいですね」と笑顔で締め切ってくださいました。取材協力ありがとうございました。

第10分科会

私たちがなぜ、エネルギーシフトに取り組んできたか

～「岩手エネルギー2050年ビジョン」その先にめざす姿とは～
 報告者：村松幸雄氏 信幸プロテック株式会社 取締役会長(岩手同友会代表理事)
 田村 満氏 株式会社高田自動車学校 代表取締役(岩手同友会代表理事)
 菊田 哲氏 岩手県中小企業家同友会 事務局長
 アドバイザー：長土居正弘氏 エネルギーアドバイザー Dotプロジェクト 事務局長

これまで村上敦氏の福岡での講演や、その著書「キロワットアワー・イズ・マネー」で、欧州と日本との省エネに対する取り組み方の大きな違いは理解していましたが、それをどう行動に繋げていけばよいか全く分かりませんでした。

今回、東日本大震災を経験した岩手同友会のメンバーが研究会を立ち上げ、3回にわたり欧州視察を実施し地道にエネルギーシフトに取り組んでおられることの一端を知ることができました。世界で一番寒い家に住んでいることに気が付きヒートショックで亡くなる人が年間1万7千人もいるという現実の中から、快適な住環境づくりに取り組むことが、地域の新しい仕事づくりにつながっているのだと、自動車学校校舎建設の実例で大変よく理解できました。特に四つのしょうエネの中で「小エネ」が我々中小企業にとって一番取り組みやすい仕事につなげやすい課題のような気がしました。

グループ討論の発表者(宮崎同友会)が5グループの長野、静岡、長崎、福岡で研究会を立ち上げることになりましたと独断で公言したのには驚きましたが、本気でやるには必要なことでしょうか……



参加報告
 有限会社フルガード 代表取締役
 植原 正明氏 (筑紫支部)

記念講演

伝統を守り革新し続けるローリング型経営

報告者：窪田 茂氏 窪田織物株式会社 代表取締役社長(鹿児島同友会)

大島紬の市場規模が最盛期の3%にまで減少してしまった中で、報告者の波乱万丈の人生と、経営に対する果敢な挑戦は、まるでドラマを見ているようでした。ペルシャ絨毯と並ぶ世界三大織物の一つである大島紬。その素材や技術から生み出された優位性を、単に伝統的な着物文化にとらわれることなく、鞆屋さんやアパレル業界とのコラボによって新しい世界へと挑戦する行動力には大きなヒントをいただきました。

参加しての皆さんへ伝えたいこと 自ら実践していこうと思うこと

私が選んだ分科会も全体会の記念公演も、今思えば「現状打破」がテーマだったような気がします。

未曾有の大災害に見舞われ一気に地域が消滅の危機に直面した中で研究会を立ち上げエネルギーシフトと言う課題に取り組む同友会の仲間たち。業界の消滅に直しながらも果敢に攻めることで難局をのりこえて来た仲間。事業承継のことがすべての問題としか考えていない私には別世界のこのように感じてしまいました。それでもわが社に置き換えて考えた時、労働環境の改善、付加価値を高めるための新しい商品、サービスの開発、後継者を含めた人材の育成等々、現状打破を求められている課題は山積しています。もう一度挑戦する気持ちを思い出し毎日を送りたいと思います。

強靱な企業づくりが日本の未来を切り拓く!

～経営維新で夢あふれる中小企業を実践しよう「人を生かす経営」～

第47回中小企業問題全国研究集会in鹿児島

経営維新は薩摩からぞわす!一緒に語りもんぞ!

■2017年2月16日(木)～17日(金)

■城山観光ホテル(鹿児島)



窪田 茂氏による記念講演

2月16日(木)・17日(金)、鹿児島の地で第47回中小企業問題全国研究集会(以下、全研)が開催されました。全国から1200名もの会員が集結し、福岡からも60名を超す会員、事務局員が参加をして学びを深めました。全研の主催者である中同協の広浜幹事長は今回の全研を以下の通りまとめられました。

1 全研の目的意義を明確にする

鹿児島の上田平孝也実行委員長が掲げた4つの意義に触れました。

- 一致団結(会員増強)
- 切磋琢磨(深い学び)
- 無二無三(情報発信)
- 進取果敢(価値観の転換)

なんと3年前に誘致しときの会勢280名から500名を超えて今回を迎えられました。

これらの意義目的が記念講演の窪田茂社長の報告まで一貫して貫かれていました。

2 三つの目的の総合実践の学びである

中小企業問題をちゃんと全面に取り上げ、特に今回は8つの分科会で座長の他にアドバイザーをつけました。中小企業経営は外部要因だけでなく、内部要因もあることなどを指摘されました。例えば公私混同、生産性が悪い、労働環境が悪い、指針書が無いなど。特に10人未満の会社の半数近くは就業規則が作られていないことや指針書も30%しかできていないことなどです。

3 世界に誇れる日本を作るわれわれ会員は先頭にたつ

それぞれの分科会の成果を確認しながらまとめられました。



グループ討論では活発に意見交換がされた

次回開催地の兵庫同友会より、鹿児島同友会への労いと兵庫へのお誘いをして2日間の学びに幕を閉じました。

第5分科会

人口減少社会で中小企業が存続するために、必須の経営戦略とは?

～価格競争から価値競争へ!自社の競争優位性をどのように作るか?～

報告者：田浦 通氏 株式会社シティーライン 代表取締役社長(福岡同友会代表理事・かすや支部)
 アドバイザー：合力知工氏 福岡大学商学部 教授 就職・進路支援センター長(会外)

私が参加した分科会は第5分科会で福岡同友会代表理事の田浦通氏(株シティーライン代表取締役)の報告でした。人口減少社会で中小企業が存続するために、必須の経営課題とはというテーマでの報告でした。

現在は社員45名パート80名の企業とのことですが、33年前の独立創業当時の飛び込み営業から顧客づくりをはじめられたお話や、従業員との関係でご苦労なされた時期も経験しながら同友会との出会いにより経営指針書を作成し、社員と共に会社を成長なされた経験談もお聞きすることができました。



参加報告
 フォーマックスインシュアランス株式会社
 代表取締役
 加茂 勝久氏 (西支部)



田浦 通氏▲

合力 知工氏▶

創業20年目で外的要因による単価ダウンにより業績が急激に悪化したのを転機に本格的に事業革新の取り組みをはじめられたとのことでした。価格競争に晒されない独自価値とは何かを分析し、他社でできる仕事はやらない、ターゲットの業界やエリアを絞り込み総合から専門へ、また頭在市场から潜在市場への転換を実行されるなどの取り組みを実行なされたとのことでした。

今後、我々中小企業においては、激しい外的環境の変化によりさらに厳しい経営環境となっていくものと思われませんが、今回の報告をきっかけに自社の競争優位性を今後もどのように維持していくべきなのか今一度見つめなおすきっかけとなる分科会でした。

4月の行事案内

3月 18:30~21:00

経営労働委員会
労務管理部

人事・労務の基礎知識セミナー 就業規則の作成

■GGソーラービル10F

福岡市中央区天神3-4-9 ☎092-741-2336

■大塚 哲也 氏 大塚社会保険労務士事務所
社会保険労務士 福博支部

労使関係を常に安定的に保ち、働く人が仕事と生活を調和させながら安心して働くことができるように、啓蒙していくためのセミナーです。今回は第4章「労働時間、休暇および休日」から第5章「休暇等」、第6章「賃金」までの内容について解説いたします。はじめてのご参加も歓迎です。

8土 14:00~17:00

同友すばる委員会

事業承継塾 第6講 事業承継時の保険の活用

■電気ビル共創館3F

福岡市中央区渡辺通2-1-82 ☎092-714-5743

■中川 甚広 氏 株式会社ベストプラン 代表取締役 筑豊支部

昨今中小企業において、「事業承継」は大きな課題として取り上げられています。いかにスムーズに受け継ぐことができるか。社長の「心意気」を伝え、企業の存在意義を受け継ぐことができるか。今後中小企業が生き残るために、事業承継を学ぶことは大きな意義があると考えます。承継するにあたって必要になる手続きや知識、心構えを学び、企業づくりに役立てるため、共に学びましょう!

25火 18:30~21:00

企業連携推進委員会

FAST4月例会 ~“民泊”はじまる!ビジネスチャンス到来!~

■福岡県中小企業振興センター301B会議室

福岡県福岡市博多区吉塚本町9-15 ☎092-622-0011

【テーマ1】:九州に於ける民泊事業の現状

一般社団法人 九州民泊協会 理事長 長柄一夫 氏

【テーマ2】:民泊に関わる規制・民泊関連ビジネスとは

一般社団法人 九州民泊協会 理事 本田幸一郎 氏

【事例報告】:ゲストハウス経営者 濱口仙太郎 氏

民泊施設の取組は、近年、政府、地方行政間でも注目を集め、インターネットや仲介サイトの普及と共に急速に進んでいます。その間、規制や権限の地方移行など制度面での緩和も進んできています。しかし、行政の規制や緩和の内容、民泊施設提供者や利用者及び地域住民との調整など、分からないまま進められています。民泊はすそ野の広い産業です。このすそ野の広い領域でビジネスが期待されます。

そこで、昨年12月、健全な発展を願って、一般社団法人九州民泊協会が設立されました。今月の例会は、民泊に関する健全な取り組みを、提供者、利用者、周辺ビジネス側から考えるために、開催します。

27木 18:00~21:00

第136回新会員フォローアップセミナー

■同友会会議室

福岡市博多区吉塚本町9-15 11F ☎092-686-1234

お知り合いの方を誘って、是非ご参加ください。

お申し込み、お問合せは、e.doyu もしくは、同友会事務局までお願いします。

【北九州地区総会】

北九州地区総会	4月21日(金)	17:30~21:00	ホテルアルモニーサンク 北九州市小倉北区大手町12-3	093-592-5401
	【第1部】 記念講演会(17:30~) 『現役クラウン(道化師)から学ぶ ~感動サービスとテクニックとは~』 報告者 大棟 耕介氏 有限会社プレジャー企画 代表取締役会長			
	【第2部】 北九州地区総会(19:00~)			
	【第3部】 北九州支部・ひびき支部総会(19:55~)			
	【第4部】 懇親会(21:00~)			

【県 定期総会】

県 定期 総会	5月9日(火)	14:30~19:30	ANAクラウンプラザホテル福岡 福岡市博多区博多駅3-3-3	092-471-7111
	【第1部】 14:35~15:40 記念講演			
	【第2部】 15:50~16:15 総会表彰			
	16:15~18:05 総会議事			
	【第3部】 18:20~19:30 交流会			

【福岡地区 総会・支部総会開催一覧】

福岡地区総会	4月20日(木)	15:30~17:20	福岡県中小企業振興センター大ホール 福岡市博多区吉塚本町9-15 2F	092-622-0011
東支部総会	4月20日(木)	18:00~19:30	八仙閣本店 福岡市博多区博多駅東2丁目7-27	092-411-8000
福博支部総会	4月20日(木)	18:00~19:30	福岡県中小企業振興センター301A 福岡市博多区吉塚本町9-15 2F	092-622-0011
博多支部総会	4月20日(木)	18:00~19:30	八仙閣本店 福岡市博多区博多駅東2丁目7-27	092-411-8000
中央支部総会	4月20日(木)	18:30~19:30	天神ビル 福岡市中央区天神2-12-1	0120-323-920
西支部総会	4月20日(木)	18:30~19:30	福岡ビル 福岡市中央区天神1-11-17 9F	092-716-8021
南支部総会	4月20日(木)	18:00~19:45	福岡県中小企業振興センター301B 福岡市博多区吉塚本町9-15	092-622-0011
筑紫支部総会	4月20日(木)	18:30~20:00	ロイヤルチェスター福岡 福岡県大野城市雑餉隈町3-3-15	092-588-6688
福友支部総会	4月20日(木)	18:00~19:00	ウィズスタイル福岡 福岡市博多区博多駅南1-9-18	092-433-3900
青年支部総会	4月20日(木)	18:00~19:30	福岡県中小企業振興センター401B 福岡市博多区吉塚本町9-15	092-622-0011
玄海支部総会	4月20日(木)	17:50~19:00	福岡県中小企業振興センター303 福岡市博多区吉塚本町9-15	092-622-0011
かすや支部総会	4月20日(木)	18:00~19:30	福岡県中小企業振興センター302 福岡市博多区吉塚本町9-15	092-622-0011
糸島支部総会	4月20日(木)	19:00~21:00	元氣くらぶ 福岡県糸島市泊765	092-331-1000

【県南地区 総会・支部総会開催一覧】

県南地区総会	4月14日(金)	17:00~18:00	ランヴィエール勝島 柳川市南長柄町22	0944-73-9181
久留米支部総会	4月19日(水)	19:00~20:00	萃香園ホテル 久留米市櫛原町87	0942-35-5351
大牟田支部総会	4月18日(火)	18:00~21:00	グランドホテル清風荘 大牟田市原山町2-4	0944-56-1212
有明支部総会	4月14日(金)	18:00~19:00	ランヴィエール勝島 柳川市南長柄町22	0944-73-9181
りょうちく支部総会	4月21日(金)	18:30~20:30	原鶴温泉 旅館 泰泉閣 朝倉市杷木志波20	0946-62-1140

【筑豊地区 総会・支部総会開催一覧】

筑豊地区総会	4月10日(月)	17:00~18:10	ザ・プリティッシュヒルズ 田川市栄町3178-1	0947-44-2624
田川支部設立総会	4月10日(月)	18:10~18:30	ザ・プリティッシュヒルズ 田川市栄町3178-1	0947-44-2624
のおがた支部総会	4月10日(月)	18:35~19:15	ザ・プリティッシュヒルズ 田川市栄町3178-1	0947-44-2624
飯塚支部総会	4月10日(月)	18:35~19:15	ザ・プリティッシュヒルズ 田川市栄町3178-1	0947-44-2624

2016年度 第10回理事会報告 (一部抜粋)

日時 2017年2月22日(水) 14時30分～17時00分
会場 福岡県中小企業振興センター 401会議室

出席 45名(出席率76.3%)
議長 森 茂博(副代表理事)

協議・審議事項

1. 2016年度決算見直しおよび2017年度予算案について

2016年度決算見直しおよび2017年度予算案について、提案があり、審議の結果承認された。

2. 支部設立および支部名変更

・田川支部の設立について提案があり、審議の結果、拍手を以て承認された。5月の総会で改めて報告される。
・筑豊支部を“のおがた支部”、嘉飯支部を“飯塚支部”にそれぞれ変更する旨提案があり、審議の結果、拍手を以て承認された。支部名は4月1日より変更することとなった。

3. 第55回定期総会開催案内について

記念講演は広浜中同協幹事長。参加促進と欠席者からは委任状の提出をしてもらうよう呼びかけがあった。会場はANAクラウンプラザホテル。懇親会参加費6,000円。

4. 委員会名変更について

「地球環境問題委員会」の名称を「環境経営委員会」に変更したい旨提案があり、審議の結果、拍手を以て承認された。

理事会報告全文は、e.doyuの文書管理(理事会報告-2016年度)にアップしています。会員の方は全て閲覧できます。

報告事項

1. 会員企業の動きなど(資料報告)

- 経営革新計画承認企業 2017年1月(県40件/うち同友会会員企業3件)
- 日本ビルケア(株) 山田 秀樹氏(福友支部)
<テーマ> 非公開
 - (株)オガタストーン 緒方 康幸氏(青年支部)
<テーマ> 神社石造物の修理業務へのトータルコーディネート事業
 - (株)大東 能美 由希子氏(北九州支部)
<テーマ> 生産管理、加工機設備診断システム付自動機導入による生産効率の向上
※累計で福岡県全体では5,206件、会員企業は402件

表彰など

- 平成28年度 福岡県子育て応援宣言企業・事業所知事表彰(従業員の仕事と子育ての両立のための職場づくりについて、功績が特に顕著である企業・事業所を表彰)
<「男性の育児参加促進企業」部門>
エコー電子工業(株) 松本 清人氏(玄海支部)

福岡県「中小企業のための よくわかる女性活躍支援の手引」取り組み事例紹介

- | | | |
|-------|--------------|---------------|
| ①採用 | ・(株)カウテレビジョン | 高橋 康德氏(福友支部) |
| | ・(株)南福岡自動車学校 | 江上 嘉実氏(筑紫支部) |
| ②育成 | ・ASAP動物病院 | 山口 明子氏(筑豊支部) |
| | ・キューハイテック(株) | 日高 美治氏(博多支部) |
| ③就業継続 | ・イエノコト(株) | 淀川 洋子氏(筑紫支部) |
| | ・宮田織物(株) | 吉開ひとみ氏(福友支部) |
| ④昇進 | ・(株)今村組 | 今村 成剛氏(大牟田支部) |

福岡フレンドシップフェスティバル2017



開催日時 **4月9日(日) 10:00~16:00**
会場 **福岡市役所前ふれあい広場**
主催 **福岡同友会 青年支部** 後援 **福岡市**

私たち青年支部は福岡フレンドシップフェスティバルを過去22回開催させて頂きました。多くの支援事業者の仲間たち、市民の方々とふれあうことで一人一人の人間としてまた企業家として数多くのことを学び、また感動を得ることができました。近年、支援事業所を取り巻く環境は年々厳しさを増していると我々も認識しております。その中過去22回の開催を通じての一貫した開催理念である、「バリアフリー(障がい者と隔たりなく共に生きていく社会)こそが豊かな社会であり、「地域と共に歩む中手企業を目指す」同友会がバリアフリー社会を率先して実践していく」ということを青年支部会員が一人一人が改めて深く認識し、「我々青年支部が架け橋となる」との今年の開催テーマのもとで、私たち同友会青年支部が、より多くの市民に、身体にハンディキャップを持った仲間たちが一生懸命働いている施設があることをお伝えしたいと思います。充実した催しを企画して参りますので、多数のご参加・ご協力賜りますよう、青年支部一同心よりお願い申し上げます。 青年支部長 明永 稔



阿武松部屋の阿夢露関「ヒマワリ」



「マトリョーシカ」



作者の太田信介氏



「白いトルコキキョウ」

「絵」を仕事に。障がい者画家を支援

代表者の太田信介は、大学卒業後、新卒入社で大手パチンコ店に就職し15年勤務しました。28歳で店長になり、釘師・スロット設定・店舗運営を退職するまでの9年間行いました。2012年3月に退社し、同年6月に開業しました。「障がいをもつ弟に絵を通じて、お給料を払いたい」との思いがあったからです。「弟だけが障がい者ではないので、少しでも多くの障がい者の方に報酬を与えたい」ということが現在の理念に基づいています。

絵画レンタルは3ヶ月に1度絵を交換するので、玄関や応接室に飾る絵は、飽きることがありません。絵を交換する空間が変わった感じがして、とても新鮮味があります。お客様からの評判も良く、「絵が変わること、訪れた方との会話が盛り上がる」との声が多く、嬉しく思います。絵と併せて感謝状(絵画レンタル代の一部が障がい者支援になるとい



絵画レンタルをご利用いただいている社会保険労務士法人 COMMITMENT 北原 勉さん(博多支部)

う内容も記載)を掲示します。社会貢献を通じて、イメージアップに繋がります。弊社の絵画レンタル事業は障害者優先調達法の規程に基づき、福岡県のホームページで紹介されています。

東支部所属の(株)さわだ(北九州市にある障害者就労支援事業所)と代理店契約をさせて頂いています。代理店契約を通じて、障がい者の報酬に繋げることを積極的に取り組んでいます。

絵届け問屋“kousuke”

粕屋郡志免町別府西3-3-16 608号
TEL / FAX: 092-410-3850
事業概要: 障がいをもつ方の経済的自立支援を目的とし、絵画の販売・レンタル
<http://etodoketonya.sakura.ne.jp/index.php>

企業理念

障がいをもつ太田宏介と仲間たちが、「明るさ」と「元気」を絵画という形にして、皆様に【感動】と【勇気】をお届けいたします。

わが社のイベント

絵画レンタルのご紹介

絵届け問屋「kousuke」平成24年設立。代表者太田信介の弟である、太田宏介は知的障がいを伴う自閉症の画家で、その作品を中心に、絵画展企画・絵画レンタル・絵画販売・デザイン提供を展開。近年は、母親である太田愛子トークショー&太田宏介のライブイベントで全国を講演しています。「開業5年・同友会歴5年、同友会で会社が継続している」と思っています。

博多支部

太田 信介氏

Ohya Shinsuke



会員からの投稿

Voice



登録有形文化財 嘉穂劇場 (江戸歌舞伎様式芝居小屋)

フォト散歩『飯塚物語』 『嘉穂劇場』これぞ日本!これぞ昭和!

日本の近代化を支えた筑豊の炭鉱、川筋に50あまりの芝居小屋もただ一つ。苦難、災難を乗り越えて『どっこい生きてる嘉穂劇場』『炭鉱がなくても嘉穂劇場』ここに日本の舞台があった、今も役者を惹きつける。

嘉穂劇場 飯塚市飯塚5-23 0948-22-0266

日本を支えた炭鉱時代

明治時代に入ると、飯塚の周辺一帯は筑豊炭田と呼ばれ、日本の石炭の50%を産出する日本最大の炭田に成長し、近代産業のエネルギー資源として大きな役割を果たしました。明治、大正、昭和の時代の炭鉱の歴史は飯塚市歴史資料館で学ぶことができます。

飯塚市歴史資料館 飯塚市柏の森959-1 0948-25-2930

(株)ココスイメージ 富谷 正弘 (玄海支部)



住友忠隈炭鉱ボタ山

明治・大正時代の
石炭採掘模型 (飯塚市歴史資料館)



嘉穂劇場の看板



2階展示室 資料ポスター



2階展示室 昭和初期の小道具



長崎街道筑前飯塚宿の錦絵



2003年7月19日
大水害の時嘉穂劇場

商店街にある
飯塚宿の看板



嘉穂劇場の奈落(舞台上)

一般社団法人 福岡県中小企業家同友会
「月刊 同友」編集部

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号
福岡県中小企業振興センタービル11階
TEL:092-686-1234 FAX:092-686-1230

北九州地区センター

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野1-2-39
クルーズ浅野ビル 808号
TEL:093-551-3111 FAX:093-551-3344

県南地区センター

〒830-0038 久留米市西町1367-1
祥栄ビル2階
TEL:0942-33-3355 FAX:0942-33-3366

<http://www.fukuoka.doyu.jp/>

福岡同友会

検索